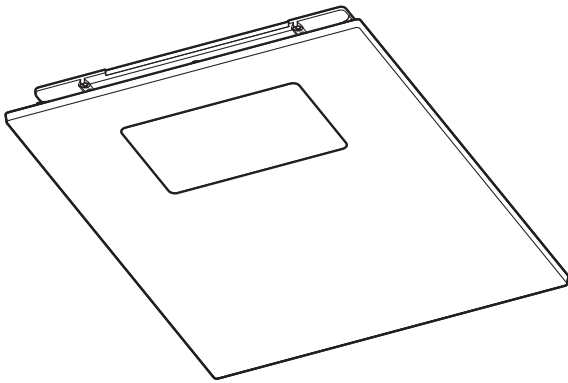


工事説明書

特定保守製品

バス換気乾燥機

品番 FY-13UG6E FY-13UG6V (単相100V)
FY-22UG6E FY-22UG6V (単相200V)



もくじ

安全上のご注意	2～3
お願い	3～4
各部の名称と寸法	5～6
取り付けかた	7～16
1. 取り付け前の準備	7～9
2. 吹出しグリルの取り付け	10～11
3. 電源の接続	12
4. 本体の取り付け	13
5. ダクトの接続	14
6. フロントパネルの取り付け	15
7. 脱衣室リモコンの取り付け	16
試運転	17～21
設置方向の設定	22～23
衣類吊り下げ用パイプの取り付け	裏表紙
確認事項のチェック	裏表紙

- 施工後、必ず試運転をおこなってください。
- この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

ユニットバス施工業者様へのお願い

それぞれの業者様にこの工事説明書を引き継いでください。

- 工事範囲**
- 電源の接続：電気工事店様
 - ダクトの接続：設備工事店様

特定保守製品に関するお願い

- 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた「特定保守製品」です。
- 特定保守製品とは、「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害をおよぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適当なものとして政令で定めるもの」です。
- 付属の取扱説明書と所有者票（黄色の封筒に入っています）は、建築工事責任者、特定保守製品取引事業者またはお施主様（消費者、賃貸業者等の所有者）に必ずお渡しください。
消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は、特定製造事業者等に対して、所有者情報を提供する責務が定められています。

安全上のご注意

必ずお守りください

- 設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ設置してください。
- 設置工事完了後、試運転をおこない異常がないことを確認し、取扱説明書に基づいてお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この工事説明書は、取扱説明書と一緒にお客様で保管いただくように依頼してください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

設置場所について



禁止

- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はおこなわない（発火の原因となります）
- 内釜式風呂を設置した浴室に、取り付けしない（排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因となります）



- 施工は、この工事説明書および「電気設備技術基準」「建築基準法」「各都市の条例」にしたがって確実にこなう（水漏れや感電、火災の原因となります）
- メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトが貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と電氣的に接触しないように絶縁処理を施す（接触すると、漏電した場合、感電や火災の原因となります）

電気工事について



禁止

- 電源ケーブルを束ねたまま配線しない（発熱や発火、火災の原因となります）
- 単線とより線の直接接続（ねじり接続など）、専用工具以外での圧着は絶対にしない（発火や火災の原因となります）



- 配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程にしたがって、必ず「電気工事士」が確実にこなう（誤った配線工事は漏電、感電や火災のおそれがあります）
- アース工事は電気設備技術基準に関連する法令・規程などにしたがって必ず「電気工事士」によるD種（第三種）接地工事をおこない、専用の漏電ブレーカーを設置する（故障や漏電のときに、感電のおそれがあります）
- 電源ケーブルは確実に接続する（不確実な接続をすると過熱し、火災のおそれがあります）
- 必ず定格電圧で使用する（感電や火災の原因となります）
- 屋内配線は電気用品の技術基準適合品またはJIS適合品のVVFケーブル（単線φ1.6またはφ2.0）を使用する（発熱および発火、火災になるおそれがあります）

機器について



接触禁止

- ファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れない（感電・けが・やけどのおそれがあります）



禁止

- 絶対に分解や修理、改造はしない（火災・感電・けがの原因となります）
- 本体・排気ダクトを断熱材で覆わない（火災の原因となります）

⚠ 注意

設置工事について



禁止

- 温泉水、温泉成分を含んだ入浴剤を使用しない
(変色、腐食などにより、性能および耐久性を著しく損なう原因や、ひび割れや落下してけがをする原因となります)



- 部品の取り付けは確実にこなう
- 取り付け作業時には必ず手袋をはめて作業する
- 本体は指定の方法で確実に取り付ける
- 本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
(けがの原因となります)
- 衣類吊り下げ用パイプは、天井面から250mm以上離す
(製品に近づけすぎると、衣類が変色するおそれがあります)

お願い

- 一般家庭の浴室に取り付けてください。
- 温泉または温泉を取り込んだ浴室に取り付けしないでください。
- スチームサウナ付の浴室に取り付けしないでください。
- 油煙の発生する場所に取り付けしないでください。
- スプレーを使う場所に取り付けしないでください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使う場所に取り付けしないでください。
- 高温になる場所(周囲温度40℃を超える)に取り付けしないでください。
- 本体は天井の上に置いて取り付けしないでください。
- 次のようなダクト・配管工事はしないでください。

(1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ (3) アダプターのすぐそばでの曲げ (4) 接続ダクト径を小さくする



- 電源は必ず分電盤の専用の漏電ブレーカーに接続してください。
- 専用の漏電ブレーカーは、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形(定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下)のものを選んでください。
- 本体は、テレビ、ラジオ、無線機およびそのアンテナ線から1m以上離して施工してください。
- 施工の際に、製品本体内部へ石こうボードの粉などの侵入がないようにおこなってください。
- 樹脂製部品の取り付けは、ねじ締めの際は締めすぎて製品を破損させないように、締め付トルクに十分注意してください。
- 暖房・乾燥性能を十分発揮させるために、環境条件(気温・湿度)建築の通気などの影響による浴室結露を防止する対策をしてください。
- 浴室の天井はフラットなタイプをお選びください。天井が傾斜している、またはドーム形状になっている場合には設置できない場合があります。フラットな天井以外のユニットバスに設置する場合は事前にユニットバスメーカーに寸法を確認してください。

お願い（続き）

●このバス換気乾燥機の質量は下記です。

ユニットバスの天井を現場開口する場合は、合板などで天井を補強してください。

	品 番	質 量		品 番	質 量
単相100V	FY-13UG6E	6.6kg	単相200V	FY-22UG6E	6.8kg
	FY-13UG6V			FY-22UG6V	

●ユニットバスの天井が弱い場合は、補強材で十分に強度を持たせるか、別売の天吊脱着枠（FY-KTS14）を使用してください。特に天井材が樹脂製の場合は、必ず補強材または天吊脱着枠を設けてください。

●メンテナンスのために天井裏の電源ケーブルは十分にたるませてください。

●製品の取り付けには下記のような規制を受けますのでご確認ください。

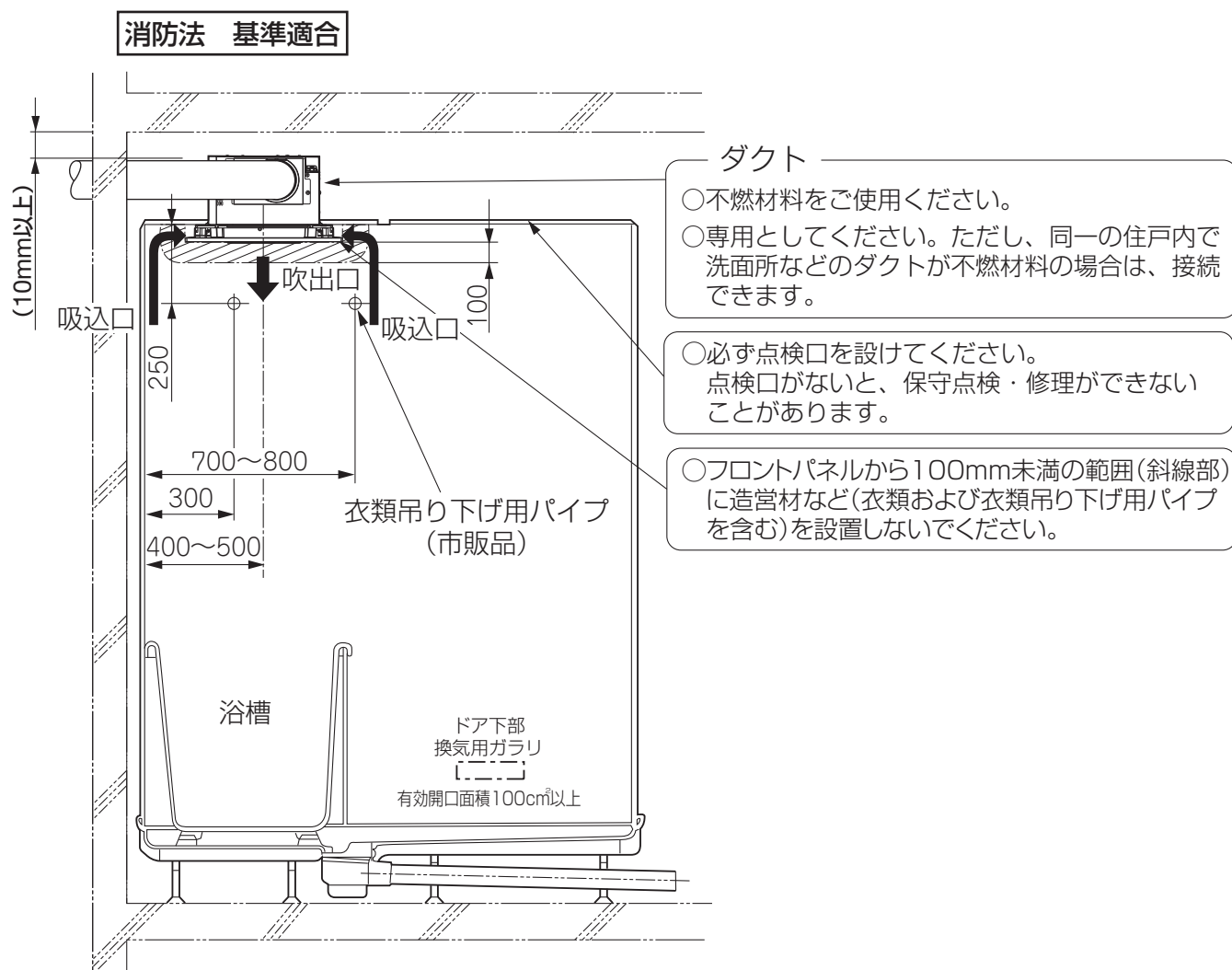
本製品は消防法基準適合品です。（平成14年消防庁告示第1号）

地域によっては、火災予防条例に基づく指導が異なる場合がありますので、所轄の監督官庁にてご確認ください。

本製品は（社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております。

消防法 規制関連

単位：mm



●アース棒の埋設場所について

適する場所 アース棒は常に湿気のあるところなど適切な場所を選定して埋設してください。

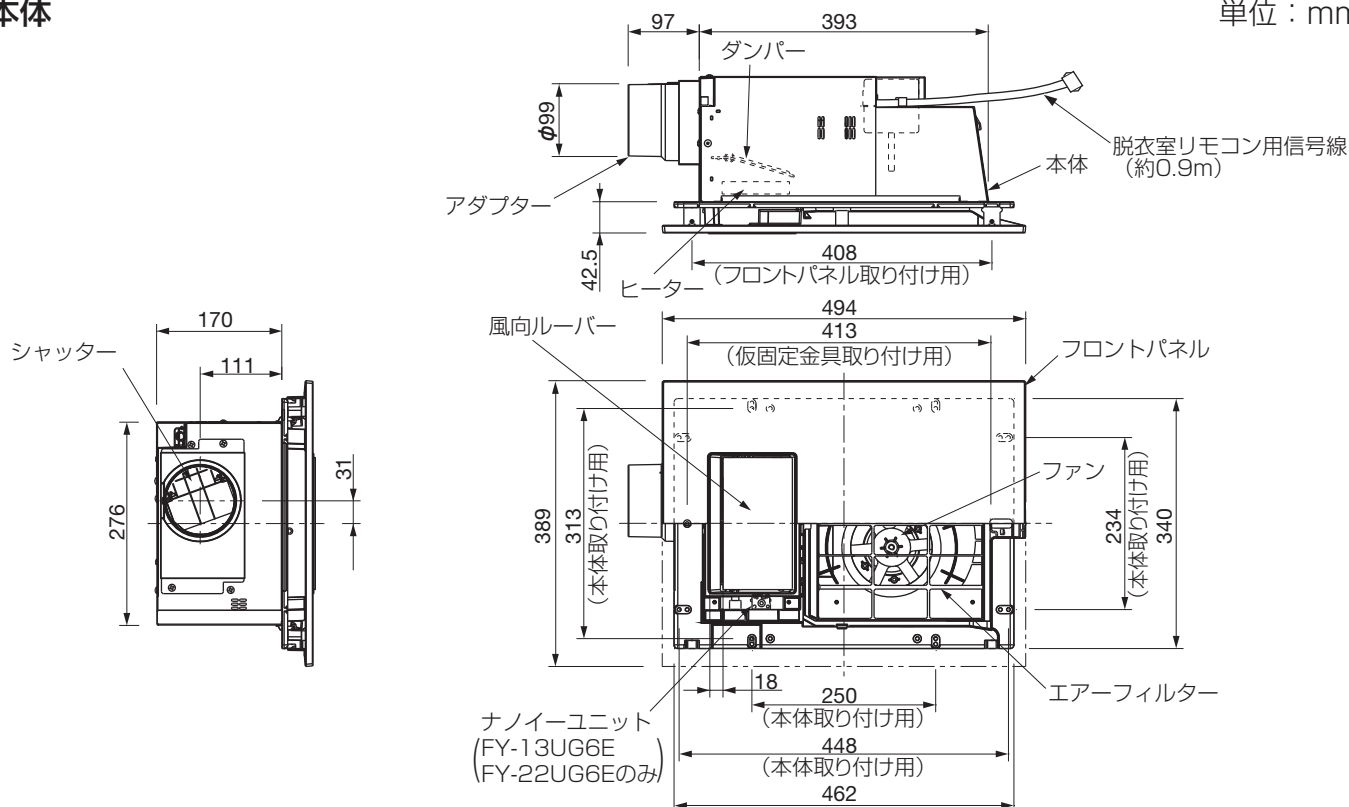
- 避ける場所**
- 1) 地下埋設場所（例：ガス管、水道管、地下ケーブル、引込管等）
 - 2) 避雷針や電話のアースから2m以内
 - 3) ガス、酸などで腐食のおそれがある場所
 - 4) 人通りがはげしい場所

アース工事をおこないますと、感電防止の他に静電気による帯電防止やノイズを吸収する効果があります。

各部の名称と寸法

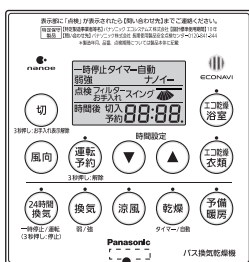
■本体

単位：mm



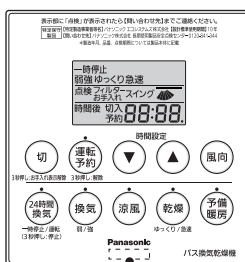
■脱衣室リモコン

FY-13UG6E
FY-22UG6E



品番表示位置

FY-13UG6V
FY-22UG6V



品番表示位置

■所有者票セット 1

(フロントパネル表面に貼り付け)
(必ず特定保守製品取引事業者またはお施主様にお渡しください)

■付属品 末尾の数字は数量をあらわします。

トラスタッピンねじ (φ4×30) 9
(本体取り付け用、仮固定金具固定用)

トラスタッピンねじ (φ4×12) 4
(フロントパネル取り付け用)
(フロントパネルに貼り付け)
※特殊ねじのため代替できません。

バインド小ねじ (M4×35) 4
(脱衣室リモコン取り付け用)
(脱衣室リモコン裏面に貼り付け)

脱衣室リモコン用信号線 1
(長さ5m)

仮固定金具 1

フランジパッキン (短/長) 各2

取扱説明書 1
(必ずお施主様にお渡しください)

工事説明書 1

説明依頼票 1

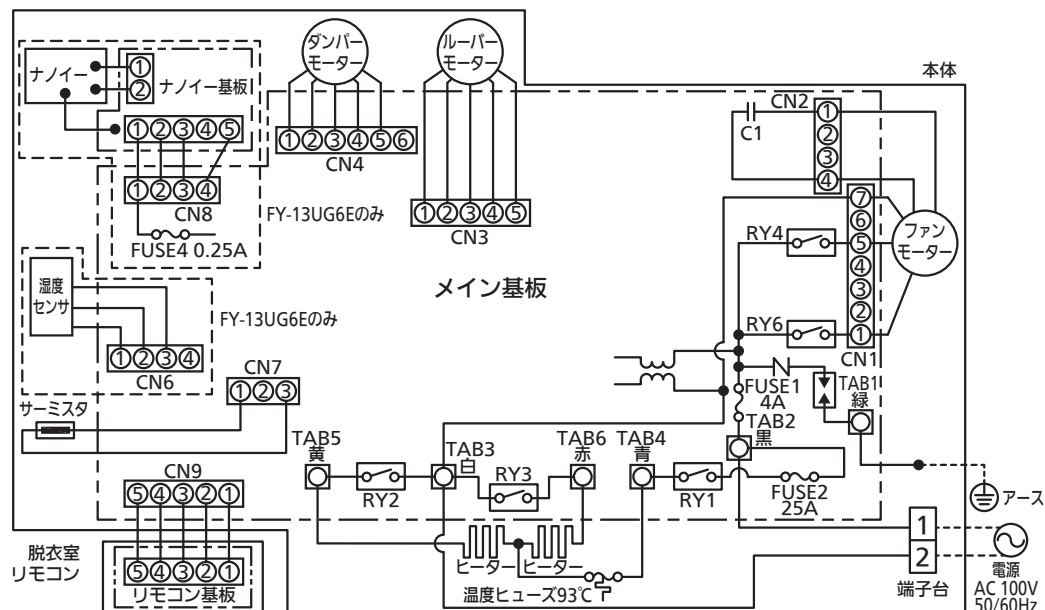
※脱衣室リモコン用信号線 (5m) の長さが不足する場合は、オプションの同10m品(BV-YB10BLC: 希望小売価格 (税抜) 3,700円) をご手配ください。

お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの (別売品) 以外は使用しないでください。

各部の名称と寸法 (続き)

■結線図

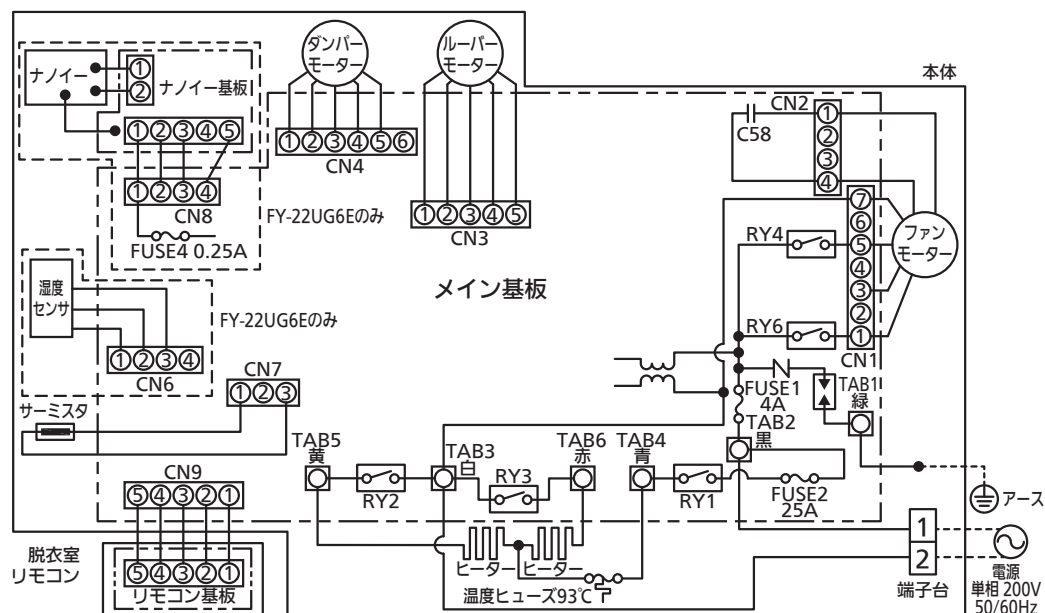
FY-13UG6E、FY-13UG6Vの場合 (単相100V (50/60Hz))



最大消費電力

品 番	最大消費電力 (50/60Hz)
FY-13UG6E	1300/1320W
FY-13UG6V	1300/1320W

FY-22UG6E、FY-22UG6Vの場合 (単相200V (50/60Hz))



最大消費電力

品 番	最大消費電力 (50/60Hz)
FY-22UG6E	2200/2250W
FY-22UG6V	2200/2250W

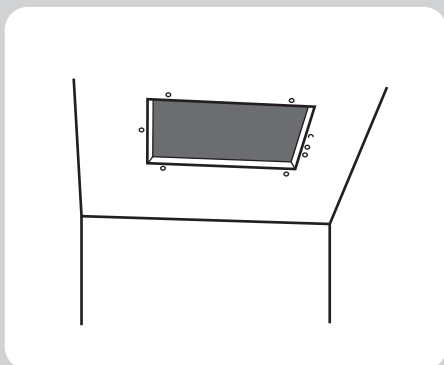
■現場で用意してください。

漏電ブレーカー	過電流保護兼用で定格電流20A、 高感度高速形 (定格電流15mA・動作時間0.1秒以下)		
電源ケーブル	VVFケーブルφ1.6またはφ2	適宜	
アース線	銅線直径φ1.6以上 (または断面積が2.0mm ² 以上)	適宜	アース工事用
アース棒		適宜	
埋込ボックス	2個用スイッチボックス (JIS C 8340対応品 (推奨: パナソニック(株)製 DS4912 金属製) または相当品 (推奨: パナソニック(株)製 DM8020K 樹脂製))	適宜	脱衣室リモコン用
はさみ金具	WN39929020 (パナソニック (株) 製)	適宜	脱衣室リモコン用
アルミテープ	幅50mm	適宜	ダクト固定用
ダクト	φ100 (不燃材料)	適宜	
パイプフードまたは ベントキャップ	ベントキャップ: FY-VCX042同等品 パイプフード: FY-MCX042同等品	1個	外壁面取り付け用 ※1

※1 パイプフードは必ず防虫網なしを使用してください。

取り付けかた

1 取り付け前の準備



●ユニットバスへ設置してください。

●設置可能な浴室の最大広さ

FY-13UG6E、FY-13UG6V…1.25坪タイプまでのユニットバス
FY-22UG6E、FY-22UG6V…1.5坪タイプまでのユニットバス

●ユニットバスのドアは給気口付きのものをご使用ください。
また給気口は下部にあるタイプのものをご使用ください。

① 設置場所を確認する (本体を取り付ける前にご確認ください)

性能を確保するために以下の条件を守ってください。

- 下記の浴室では予備暖房運転において、浴室温度が十分に上昇しません。
・ユニットバス以外・浴室の容積が大きい・窓が大きい・タイルや大理石貼り・浴室の密閉性や断熱性が悪い
- ユニットバスの天井はフラットなタイプをお選びください。
フラットな天井以外のユニットバスに設置する場合は事前にユニットバスメーカーに寸法を確認してください。
下記のタイプには設置できない場合があります。
・天井が1°以上傾斜している。・ドーム形状になっている。
・プラスチック体成型などの天井で、天井コーナーに大きなRが付いている。
- 取り付け下地材の厚さは(天井厚み+リブ高さ)40mm以下にしてください。
- 天井の状態により、本体と天井面にすき間ができることがあります。

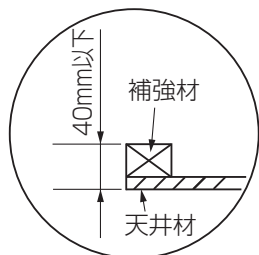
② 本体の取り付け方向を決め、穴をあける

- (※1) (※2)
※300mm、410mmは、最大寸法です。これより長いと製品本体を天井に固定出来ません。
※ユニットバスの天井が弱い場合は、補強材で十分に強度を持たせるか、別売の天吊脱着枠(FY-KTS14)を使用してください。特に天井材が樹脂製の場合は、必ず補強材または天吊脱着枠を設けてください。
(強度についてはユニットバスメーカーに確認してください)

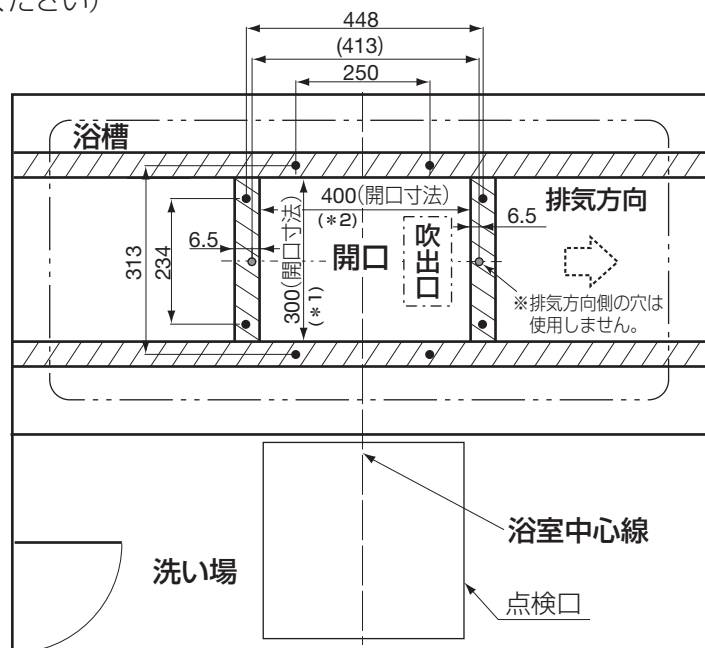
●天吊脱着枠(FY-KTS14)を使用しない場合

開口寸法: (※1) (※2)
300mm×400mmの場合

- ※右図の斜線部分に補強材を取り付けてください。
※補強材の厚さは天井板厚を含めて40mm以下にしてください。これ以上の寸法になりますと、施工・メンテナンスができません。



- …本体取り付け用下穴 (Φ2.8穴、8か所)
- …仮固定金具取り付け用下穴 (Φ2.8、2か所のうち、どちらか1か所をあけてください。)



(天井面の上から見た図)
(洗い場側から見て右側排気の場合)

取り付けかた

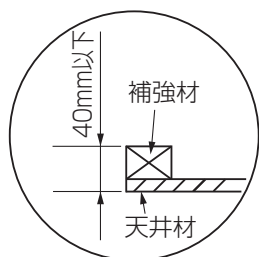
1 取り付け前の準備 (続き)

単位：mm

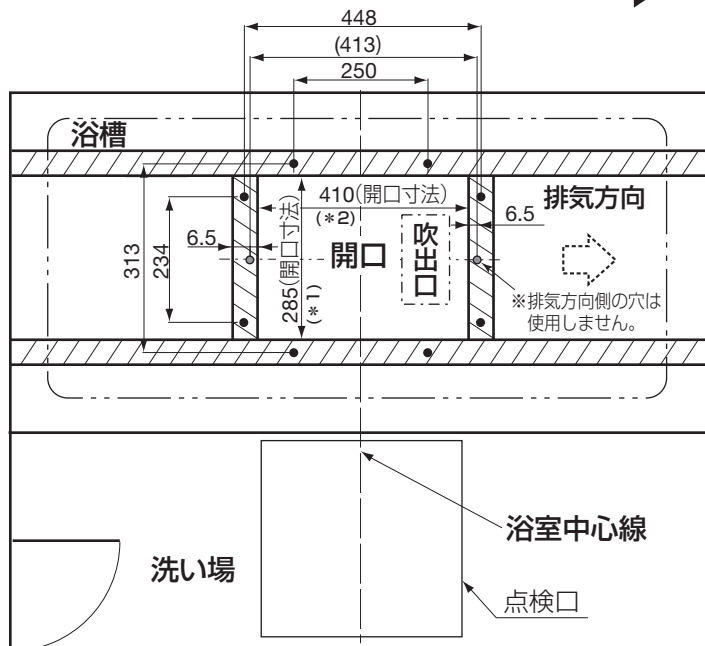
●天吊脱着枠(FY-KTS14)を使用しない場合

開口寸法： $285\text{mm} \times 410\text{mm}$ の場合

※右図の斜線部分に補強材を取り付けてください。
※補強材の厚さは天井板厚を含めて40mm以下にしてください。これ以上の寸法になりますと、施工・メンテナンスができません。

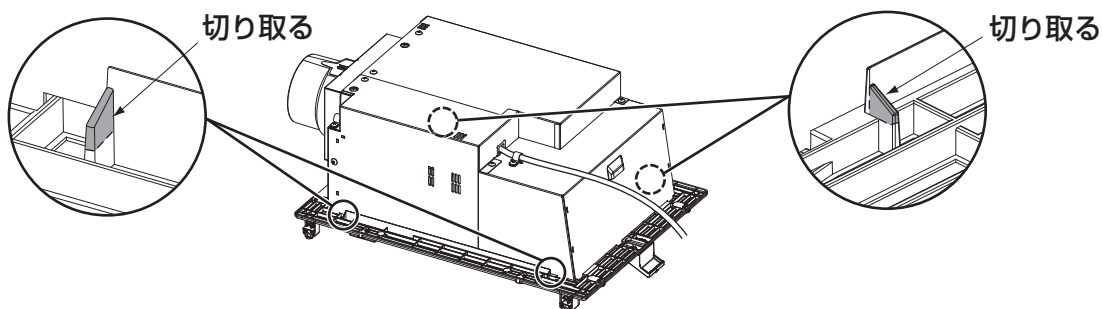


- …本体取り付け用下穴 (Φ2.8穴、8か所)
- …仮固定金具取り付け用下穴 (Φ2.8、2か所のうち、どちらか1か所をあけてください。)



(天井面の上から見た図)
(洗い場側から見て右側排気の場合)

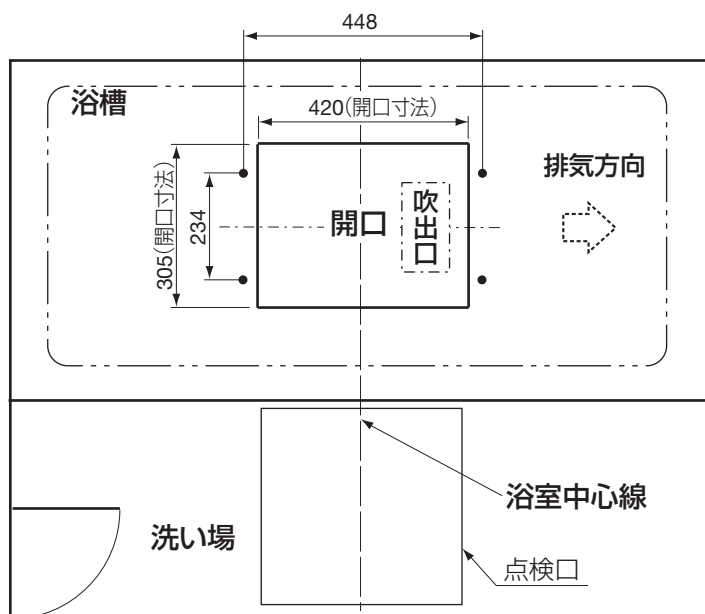
本体フランジ部のリブ (4か所) を、ニッパー等で切り取ってください。
切り取らないと、本体と天井面にすき間ができます。



●天吊脱着枠(FY-KTS14)を使用する場合

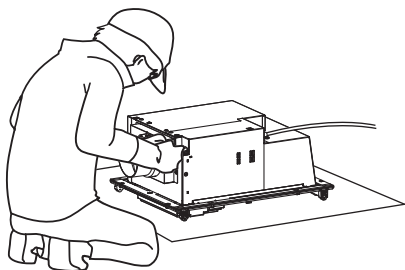
開口寸法： $305\text{mm} \times 420\text{mm}$

※バス換気乾燥機本体の取り付けは、
天吊脱着枠の工事説明書記載の方法で
取り付けてください。

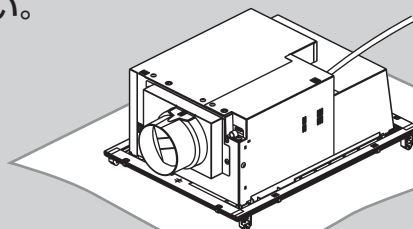


- …本体取り付け用下穴 (Φ2.8穴、4か所)

(天井面の上から見た図)
(洗い場側から見て右側排気の場合)



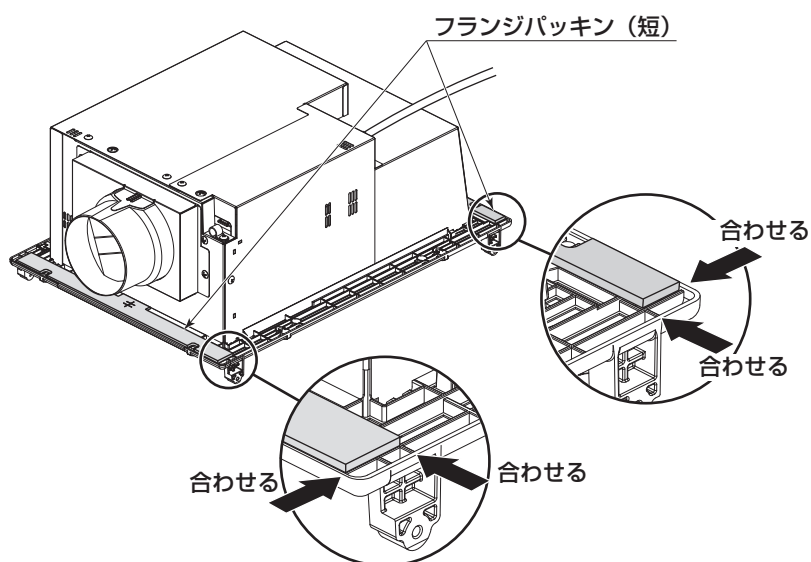
※フランジパッキン貼り付け作業は、安定した台の上でおこなってください。
 ※本体やユニットバス傷防止のため、本体を床に置く際は必ず養生してください。



③ フランジパッキンを貼る

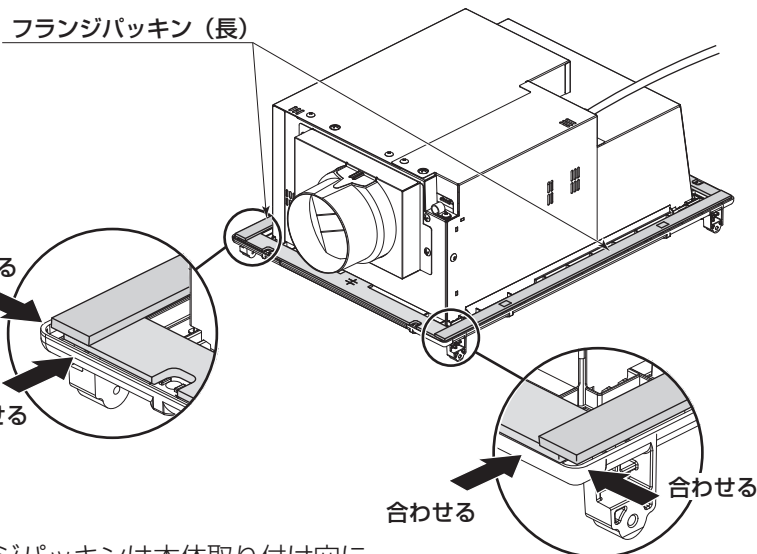
1. 本体のフランジ部（短辺）にフランジパッキン（短）を貼る。

●フランジパッキン（短）



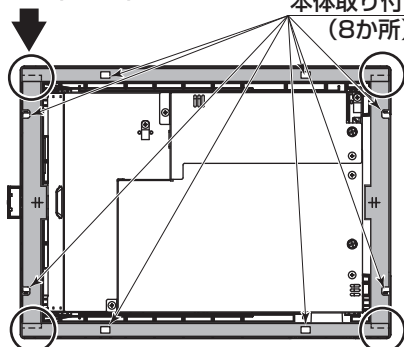
2. 本体のフランジ部（長辺）にフランジパッキン（長）を貼る。

●フランジパッキン（長）



フランジパッキン
重なり部（4か所）

本体取り付け穴
（8か所）



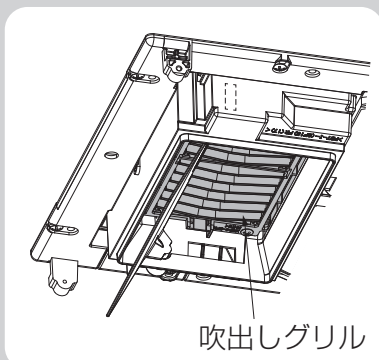
フランジパッキン貼り付け位置

※フランジパッキンは本体取り付け穴に重なるように貼り付けてください。（8か所）
 ※四隅は必ずフランジパッキンが重なるように貼り付けてください。（4か所）

取り付けかた (続き)

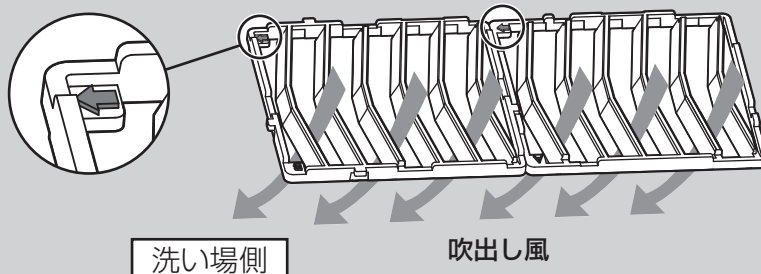
② 吹出しグリルの取り付け

本体に貼り付いているチラシは必ず取りはずしてください。



吹出しグリル

吹出しグリルの矢印の向きが「洗い場」に向くように調整します

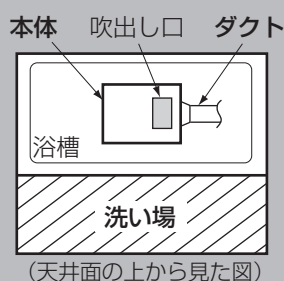


洗い場側

吹出し風

1

本体とダクトの接続向きが右図の場合



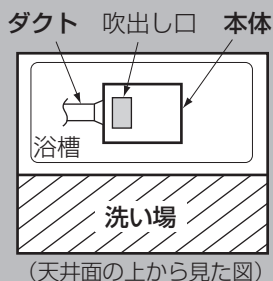
(天井面の上から見た図)

作業不要です。

(吹出しグリルが「洗い場」に向いています)
(出荷時設定)

2

本体とダクトの接続向きが右図の場合



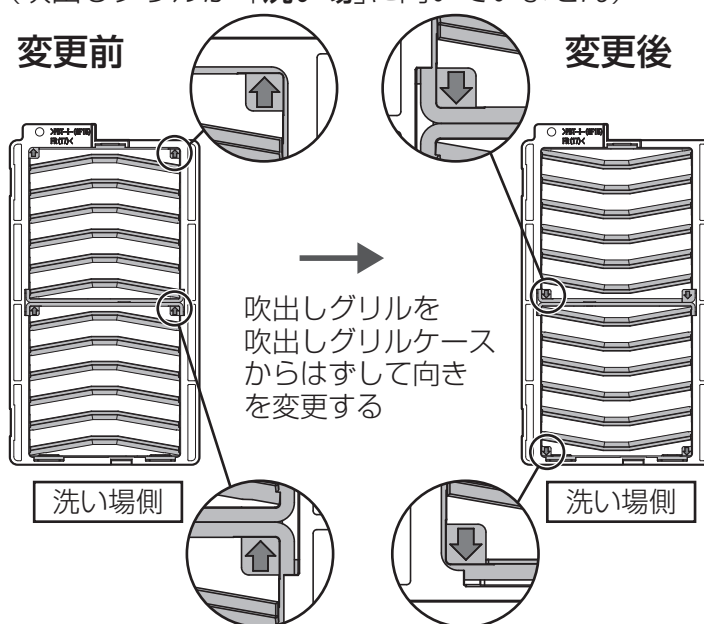
(天井面の上から見た図)

吹出しグリルの取り付け方向を変更してください。

(吹出しグリルが「洗い場」に向いていません)

変更前

変更後



詳細は11ページを参照してください。

1

2

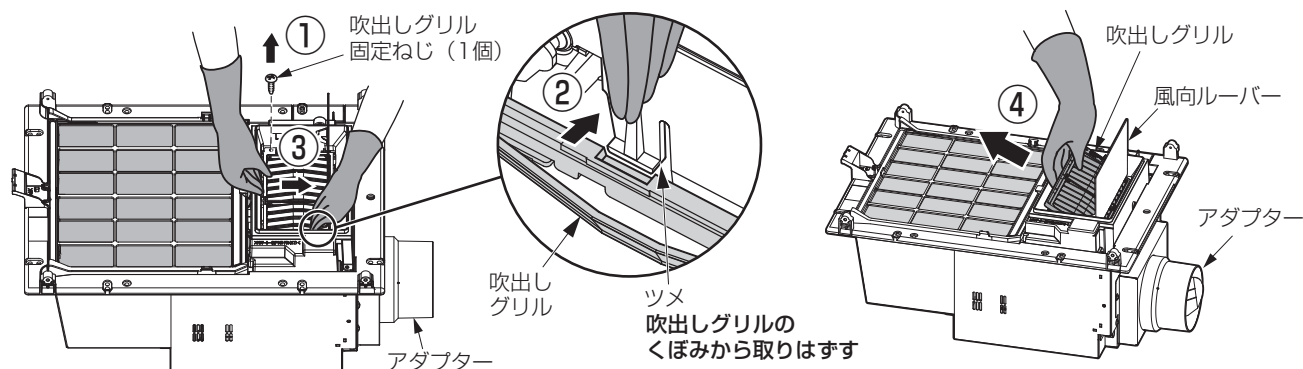
以外の場合

吹出しグリルの取り付け方向の変更と
脱衣室リモコンの設定の変更が必要です。

詳細は11、22～23ページを参照してください。

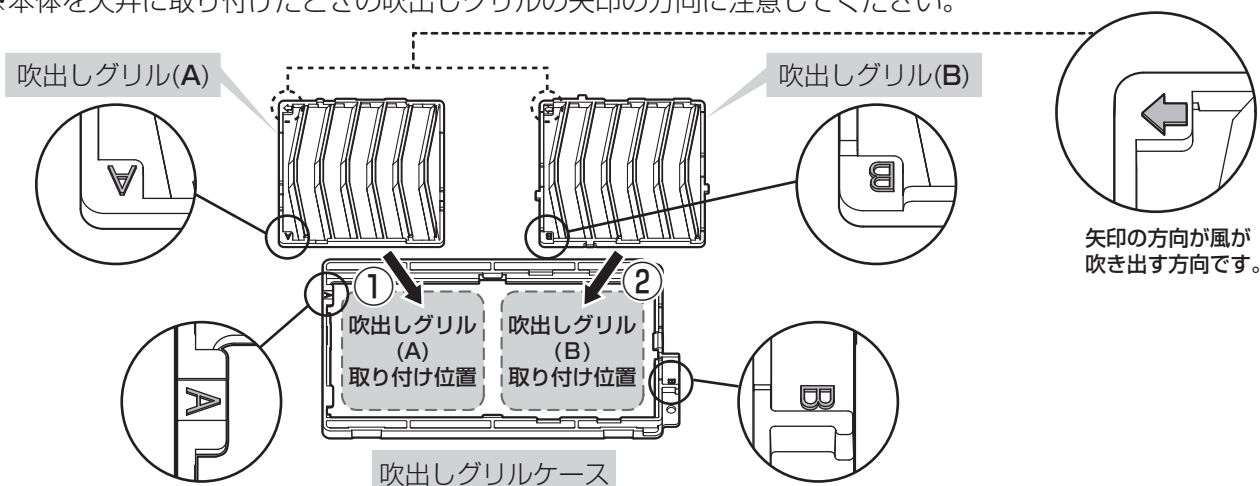
③吹出しグリルの取り付け方向を変更する

- 1.** 風向ルーバーを開き、吹出しグリル固定ねじ（1個）をはずす。
ツメを押しながら吹出しグリルをアダプター側へずらし、ななめにして本体からはずす。



2. 吹出しグリルの矢印の方向が、洗い場側に向くように取り付ける。

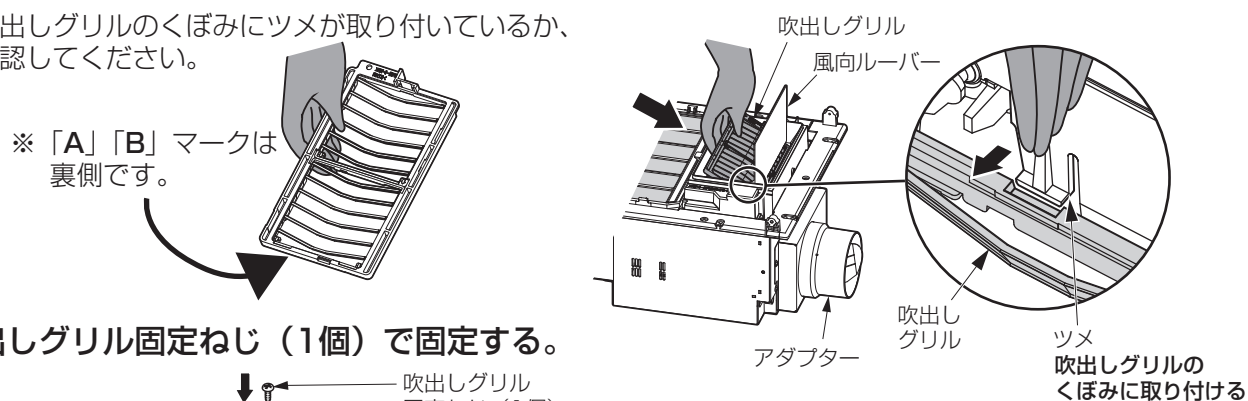
※本体を平らな場所に置いて、①吹出しグリル(A) → ②吹出しグリル(B) の順序で取り付けてください。
※本体を天井に取り付けたときの吹出しグリルの矢印の方向に注意してください。



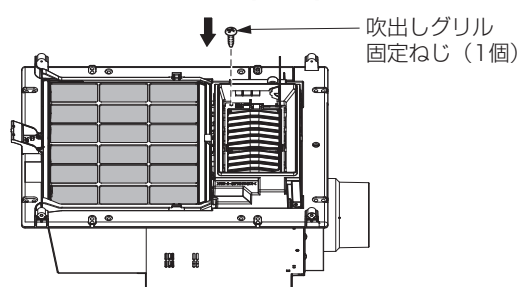
3. 吹出しグリルを取りはずしたときと逆の手順で本体に取り付ける。

※吹出しグリルのくぼみにツメが取り付いているか、確認してください。

※「A」「B」マークは裏側です。

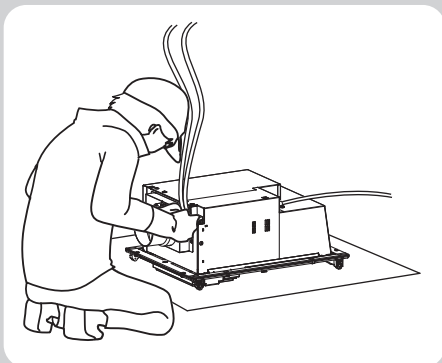


4. 吹出しグリル固定ねじ（1個）で固定する。



取り付けかた (続き)

③ 電源の接続

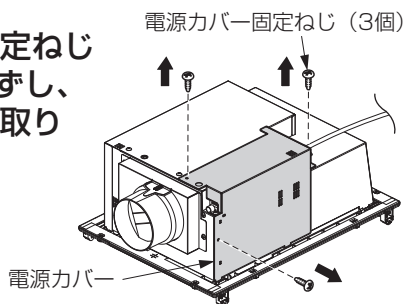


警告

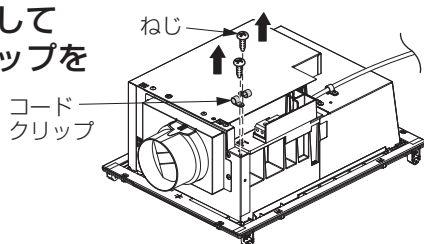


●配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程にしたがって、必ず「電気工事士」が確実にこなう
(誤った配線工事は漏電、感電や火災のおそれがあります)

1. 電源カバー固定ねじ (3個) をはずし、電源カバーを取りはずす



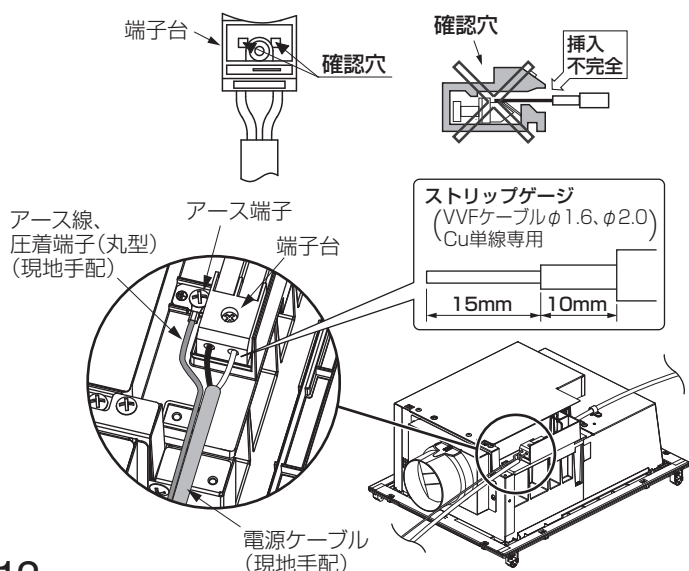
2. ねじをはずしてコードクリップをはずす



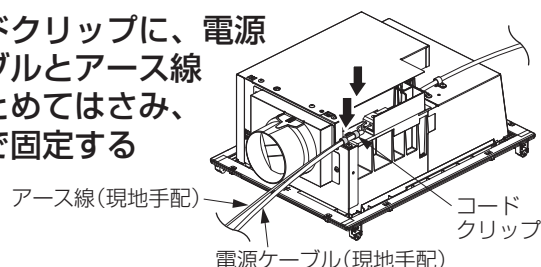
3. 電源ケーブルの先端被覆を15mmむいてから、端子台に心線がとまるまで差し込み、アース線をアース端子に接続する

※端子台の確認穴から電源ケーブルの心線が見えるまで確実に差し込んでください。

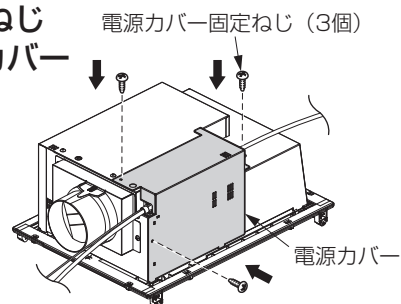
※アースねじは確実に締め付けてください。



4. コードクリップに、電源ケーブルとアース線をまとめてはさみ、ねじで固定する



5. 電源カバー固定ねじ (3個) で電源カバーを取り付ける

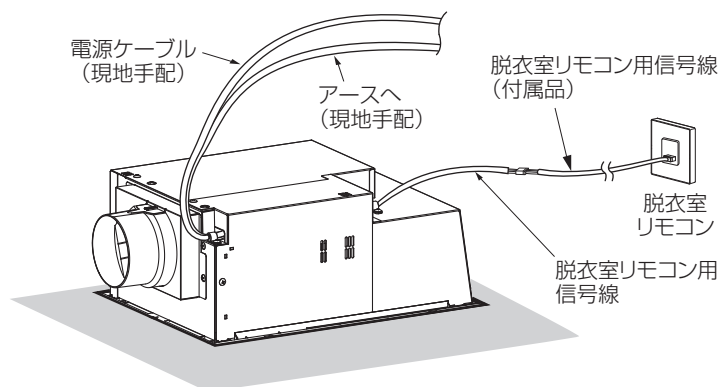


6. 付属の脱衣室リモコン用信号線を本体側コネクタに差し込んで接続する

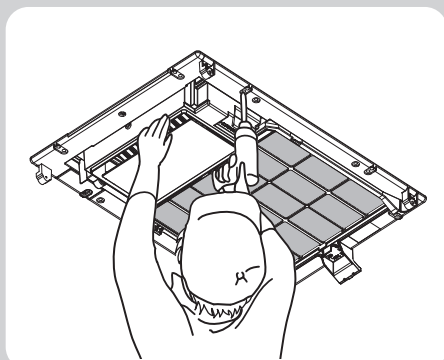
お願い

- 脱衣室リモコン用信号線は切ったり継ぎ足したりしないでください。
- ノイズによる誤動作防止のため、脱衣室リモコン用信号線と電源ケーブルを接触させたり、脱衣室リモコン用信号線を輪にして束ねないようにしてください。

※脱衣室リモコン用信号線の配線は、脱衣室リモコン側と本体側とでコネクタ形状が異なるため、間違えずに接続してください。



4 本体の取り付け



⚠ 注意



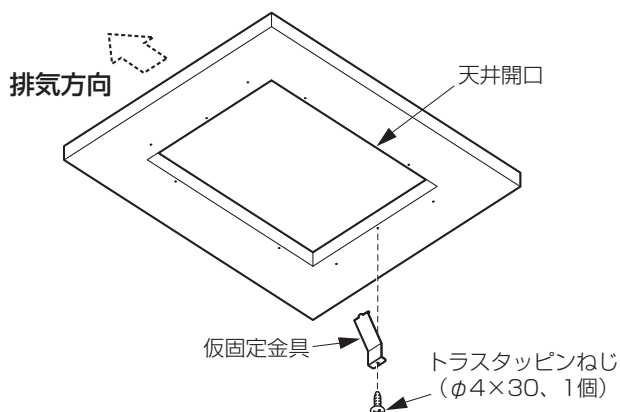
- 部品の取り付けは確実にこなう
- 取り付け作業時には必ず手袋をはめて作業する
- 本体は指定の方法で確実に取り付ける
(けがの原因となります)

お願い

天吊脱着枠(FY-KTS14)を使用する場合は、天吊脱着枠の工事説明書記載の方法で本体を取り付けてください。(取付方法が異なります)

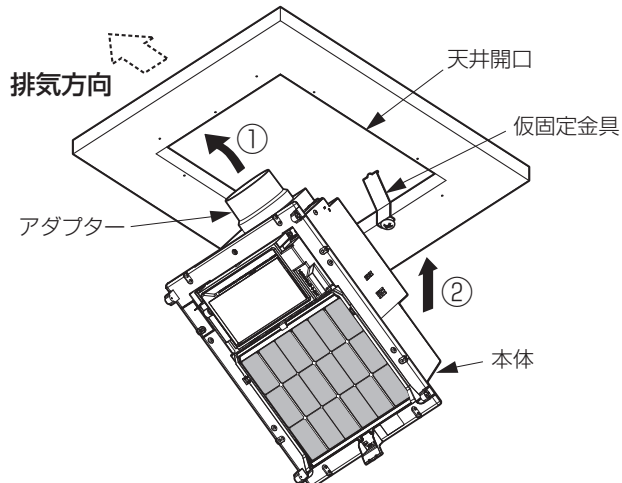
1. 仮固定金具を天井開口の排気方向と逆側の中心にあて、付属のトラスタッピンねじ(φ4×30、1個)で天井面に固定する。

※仮固定金具は天井開口とすき間がないように取り付けてください。
天井開口の内側にずれて取り付けられると、仮固定ができなくなるおそれがあります。



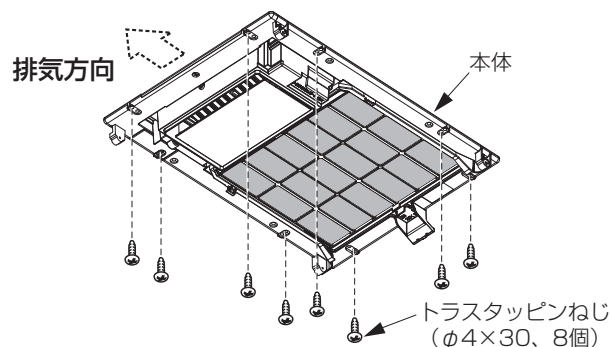
2. 本体を傾けてアダプター側から天井開口に差し込み、仮固定金具で固定されるまで本体全体を押し上げる。

※本体に固定されている電源ケーブルなどが、かみこまないように注意して取り付けてください。

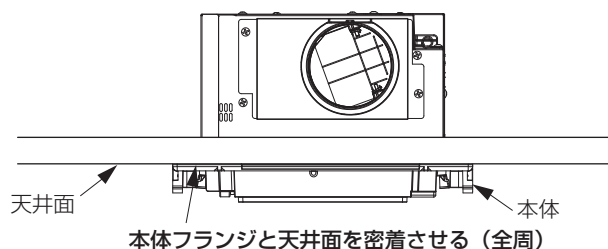


3. 付属のトラスタッピンねじ(φ4×30、8個)で締め付けて、本体を固定する。

※ねじの締め込みすぎに注意してください。

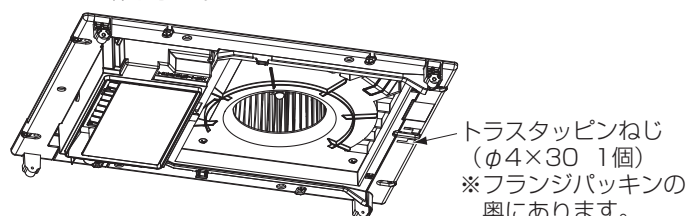


4. 本体フランジが天井面に密着していることを確認する。



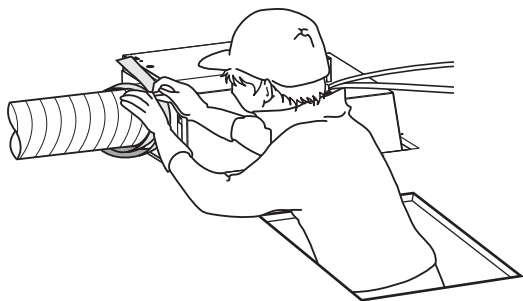
※本体を取りはずす際は、以下の順序でおこなう。

- ① 3. の本体固定用のトラスタッピンねじ(φ4×30 8個)をはずす。
- ② エアフィルターを取りはずす。
- ③ 仮固定金具用のトラスタッピンねじ(φ4×30 1個)をはずす。
※フランジパッキンを破らないように注意してください。

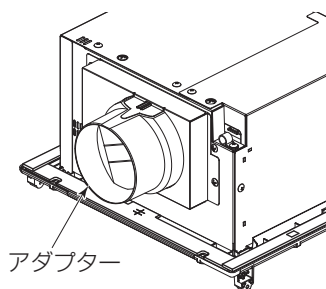


取り付けかた (続き)

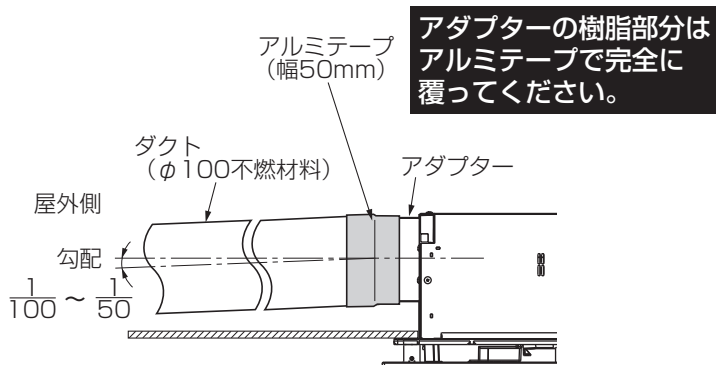
5 ダクトの接続



1. ダクト (φ100不燃材料, 別売品) をアダプターに差し込み、アルミテープ (幅50mm, 市販品) を巻いて固定する。

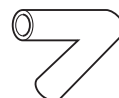


- ※ダクトは必ず屋外側に向かって下り勾配にしてください。
(アダプター接続部分を1/100~1/50の下り勾配)
- ※アルミテープは風漏れがないように巻いてください。
- ※ダクトはアダプターに力が加わらないようにしてください。

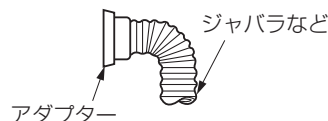


※次のような配管工事はしないでください。

- (1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ

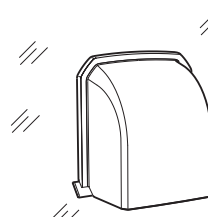


- (3) アダプターのすぐそばでの曲げ (4) 接続ダクト径を小さくする

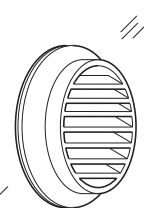


2. 外壁面に、パイプフード (別売品) またはベントキャップ (別売品) を取り付ける。

- ※パイプフード、ベントキャップは圧力損失の少ないものを選定してください。
- ※パイプフード、ベントキャップの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。
- ※パイプフードは必ず防虫網なしを使用してください。



パイプフード



ベントキャップ

⑥ フロントパネルの取り付け

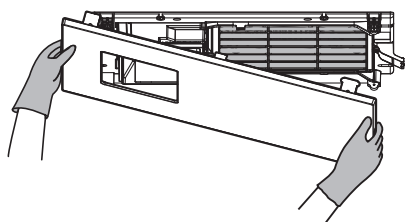
お願い

- ねじの締め込みは必ず手締めでおこなってください。

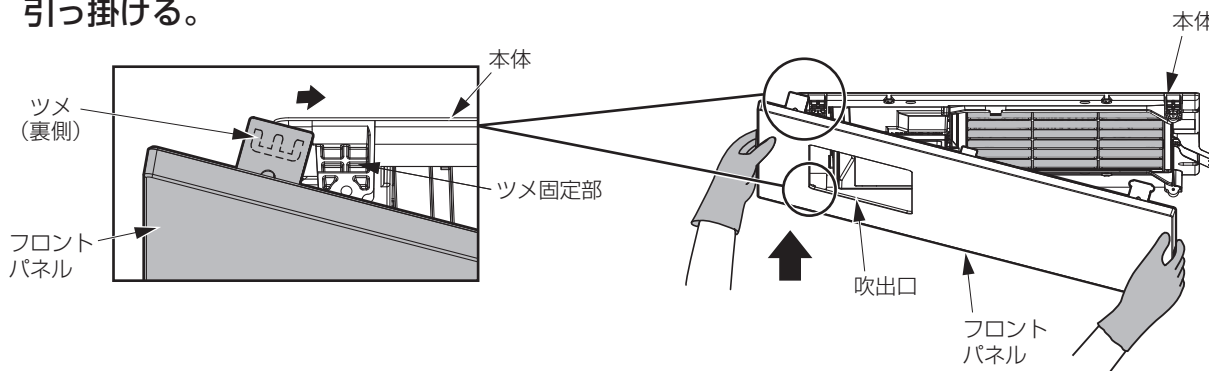
最大締め込みトルクの目安は50N・cm(5kgf・cm)以下です。
一部の電気ドライバーやインパクトドライバーを使用すると
締め込みトルクが大きすぎて破損の原因となります。

- ドライバーは200mm以下のものを使用してください。

ドライバーが浴槽側の壁にあたり、ねじが取り付けられない
場合があります。

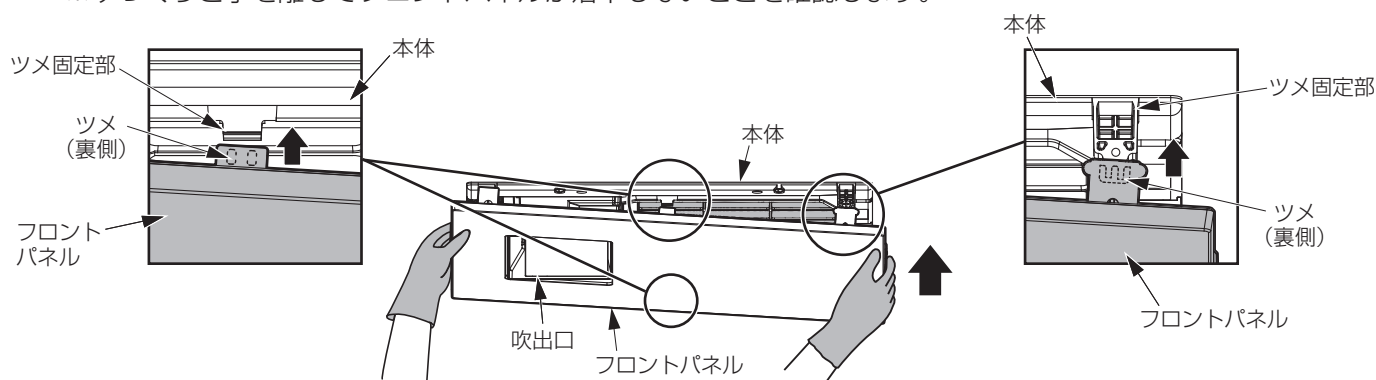


1. フロントパネルの端（吹出口側）の取付部のツメを本体の端（吹出口側）のツメ固定部に引っ掛ける。

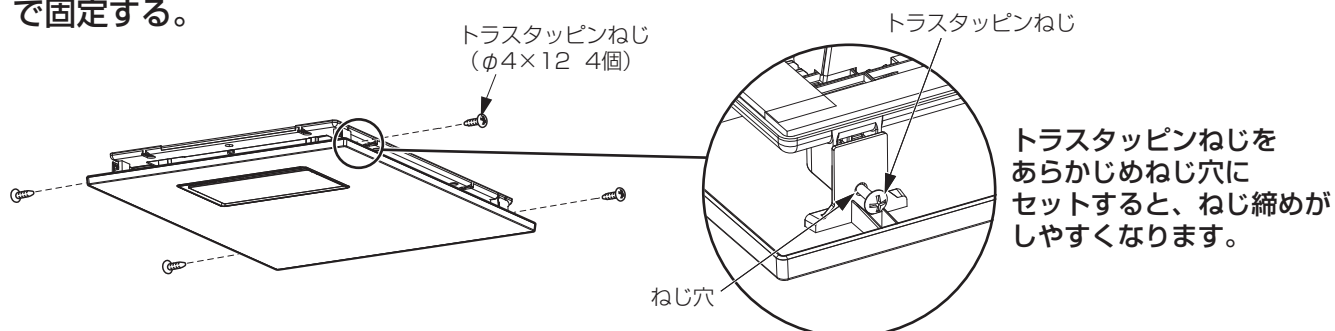


2. フロントパネルを押し上げ、フロントパネル取付部のツメ（3か所）を本体のツメ固定部（3か所）に押し込む。

※ゆっくりと手を離してフロントパネルが落下しないことを確認します。



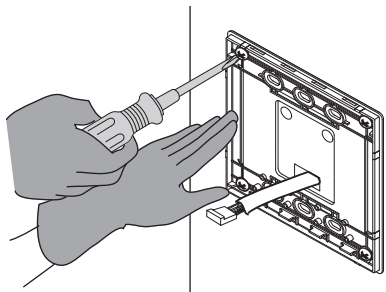
3. フロントパネルを側面よりトラスタッピンねじ（φ4×12 4個 フロントパネルに付属）で固定する。



トラスタッピンねじを
あらかじめねじ穴に
セットすると、ねじ締めが
しやすくなります。

取り付けかた (続き)

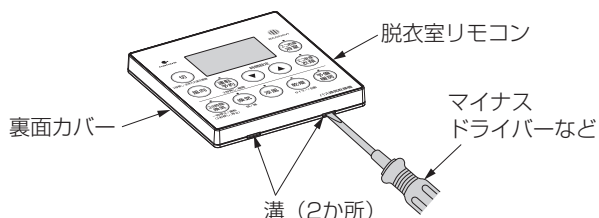
7 脱衣室リモコンの取り付け



お願い

裏面カバーの固定時には、電動ドライバーを使わずに、裏面カバーが動かない程度にねじを締め込んでください。
(目安20N・cm(2kgf・cm)以下)
締めすぎると裏面カバーが変形したり、割れたり、表面カバーが取り付けられないおそれがあります。

1. 裏面カバー下部の溝部にマイナスドライバーなどを差し込み、裏面カバーをはずす。

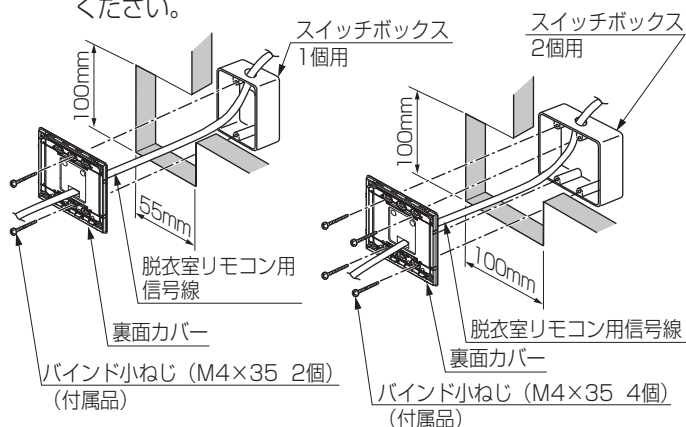


2. 脱衣室リモコン用信号線を裏面カバーに通し、裏面カバーをユニットバスの外(脱衣所など)の内壁に固定する。

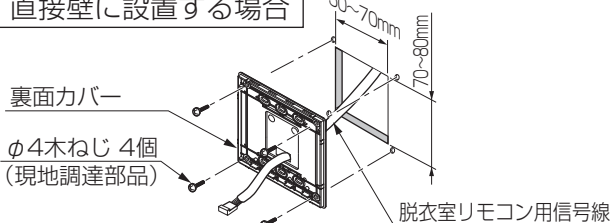
スイッチボックスを使う場合

脱衣室リモコン用信号線をスイッチボックス内に納め、裏面カバーを付属のバインド小ねじ(M4×35 2個または4個)で固定します。

※2個用スイッチボックス (JIS C 8340対応品
(推奨: パナソニック(株)製 DS4912 金属製) または相当品
(推奨: パナソニック(株)製 DM8020K 樹脂製)) をお使いください。

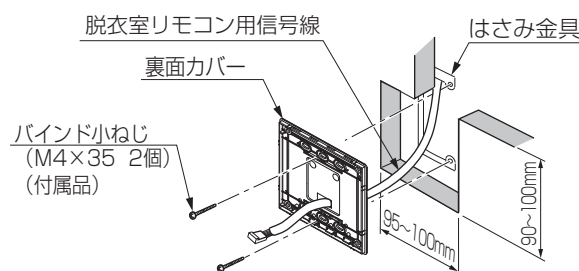


直接壁に設置する場合

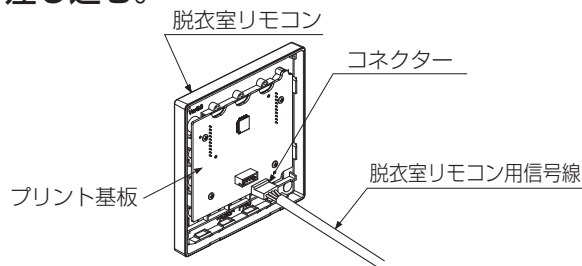


はさみ金具を使って設置する場合

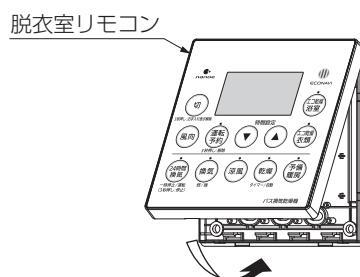
※パナソニック(株)製 WN39929020 (20個入) をお使いください。



3. 脱衣室リモコン用信号線のコネクターを差し込む。



4. 脱衣室リモコンを取り付ける。



試運転



警告



接触禁止

- ファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れない
(感電・けが・やけどのおそれがあります)

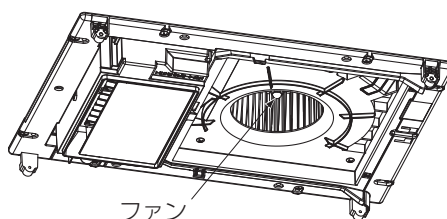
お願い

- ※電源投入の前に、電源ケーブルが定格電圧の専用の漏電ブレーカーに接続されていることを確認してください。
- ※単相200V製品で、脱衣室リモコンのランプが点灯しても本体が運転しない場合、電源電圧(単相200V)をご確認ください。(エラーコード「F41」)
(FY-22UG6E、FY-22UG6V)
- ※各運転モードの切り換えには、ヒーターの冷却などのため、約30秒間待たせする場合があります。
- ※運転を停止するとファン停止後、風路切り換え用のダンパーが、約10秒間運転する場合があります。

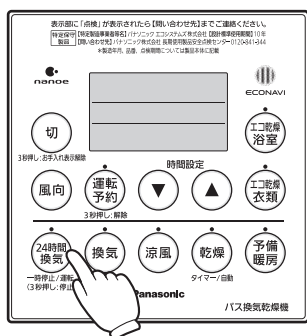
次の手順にしたがって、試運転をおこなってください。

正常に動作したら、裏表紙の「確認事項のチェック」を再度確認のうえ、取扱説明書、所有者票セットをお施主様へお渡しください。

- ※ファンの回転確認のため、フロントパネルとエアフィルターははずした状態で説明しています。



1 24時間換気



- 切を押しても停止しません。

1

24時間換気

を押す

24時間連続換気運転を開始します。

- 24時間換気ランプが点灯します。
ファンが回ります。

2

24時間換気

を3秒以上押す

完全に停止する場合は
24時間換気 を3秒以上押し続ける。

- 24時間換気ランプが消灯します。
ファンが止まります。

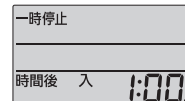
一時停止するときは

24時間換気

を押す

液晶表示部に1時間が表示され、「一時停止」が表示されます。

- 24時間換気ランプは点灯したままです。
ファンが止まります。
(1時間後に24時間連続換気運転にもどります)



一時停止をキャンセルするときは

24時間換気

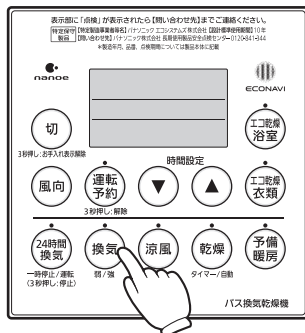
を押す

運転を再開します。

- 24時間換気ランプが点灯します。
ファンが回ります。

試運転 (続き)

② 換気



1



換気(強)運転を開始します。

- 換気ランプが点灯し、液晶表示部に運転状況が表示されます。
- ファンが回り、風向ルーバーが開きます。



※「ナノイー」表示はFY-13UG6E、FY-22UG6Eのみ

さらに押すと、
換気(弱)運転を開始します。

- 液晶表示部の「強」が消灯し、「弱」が表示されます。
- 風向ルーバーを閉じます。



2



運転時間が増減します。

- ※初期設定は換気(強)運転3時間です。
- ※10分ごとに設定できます。

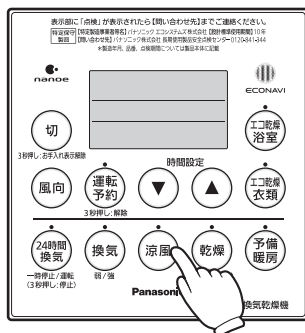
3



ファンが停止します。

- 換気ランプが消灯し、液晶表示部がすべて消灯します。

③ 涼風



1



涼風運転を開始します。

- 涼風ランプが点灯し、液晶表示部に運転状況が表示されます。
- ファンが回り、風向ルーバーが開きます。



2



風向ルーバーの向きが変わります。

3



運転時間が増減します。

- ※初期設定は30分です。
- ※10分ごとに設定できます。

4

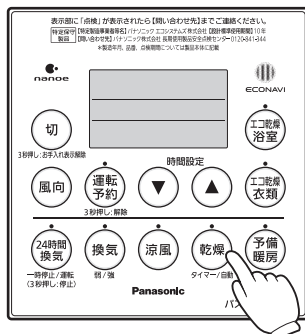


ファンが停止します。

- 涼風ランプが消灯し、液晶表示部がすべて消灯します。

4-1 乾燥

(FY-13UG6E
FY-22UG6E の場合)



乾燥(自動)運転を開始します。

- 乾燥ランプ点灯し、液晶表示部に運転状況が表示されます。
- 運転時間が「- - -」で表示されます。
- ファンが回り、風向ルーバーが開きます。

※運転時間の変更はできません。



※「ナノイー」表示は
FY-13UG6E、
FY-22UG6Eのみ



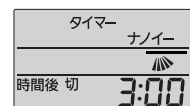
風向ルーバーの向きが変わります。

- ※乾燥運転では風向ルーバーの位置を固定することはできません。
- ※風向ルーバーの動作は、ゆっくりした動作で止まって見えることがあります。異常ではありません。



さらに押すと、
乾燥(タイマー)運転を開始します。

- 液晶表示部の「自動」「スイング」が消灯し、「タイマー」「運転時間」が表示されます。
- ファンは回ったままです。



風向ルーバーの向きが変わります。

- ※乾燥運転では風向ルーバーの位置を固定することはできません。
- ※風向ルーバーの動作は、ゆっくりした動作で止まって見えることがあります。異常ではありません。



運転時間が増減します。

- ※初期設定は3時間です。
- ※10分ごとに設定できます。



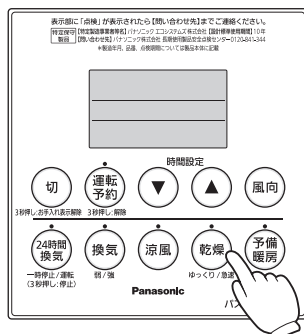
ヒーター冷却のためファンが約10秒間
運転したあと停止します。

- 乾燥ランプが消灯し、液晶表示部がすべて消灯します。

試運転 (続き)

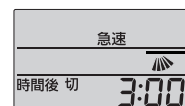
4-2 乾燥

(FY-13UG6V
FY-22UG6V の場合)



乾燥(急速)運転を開始します。

- 乾燥ランプが点灯し、液晶表示部に運転状況が表示されます。
- ファンが回り、風向ルーバーが開きます。



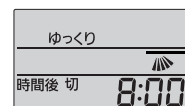
風向ルーバーの向きが変わります。

- ※乾燥運転では風向ルーバーの位置を固定することはできません。
- ※風向ルーバーの動作は、ゆっくりした動作で止まって見えることがあります。異常ではありません。



さらに押すと、
乾燥(ゆっくり)運転を開始します。

- 液晶表示部の「急速」が消灯し、「ゆっくり」「運転時間」が表示されます。
- ファンは回ったままです。



風向ルーバーの向きが変わります。

- ※乾燥運転では風向ルーバーの位置を固定することはできません。
- ※風向ルーバーの動作は、ゆっくりした動作で止まって見えることがあります。異常ではありません。



運転時間が増減します。

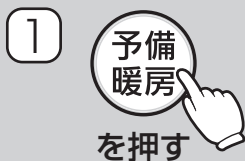
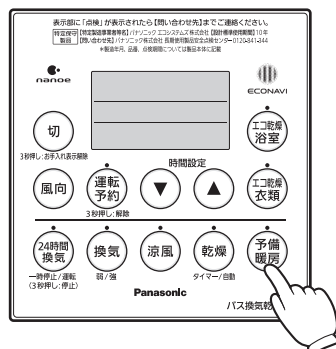
- ※初期設定は、乾燥(急速)運転は3時間、乾燥(ゆっくり)運転は8時間です。
- ※10分ごとに設定できます。



ヒーター冷却のためファンが約10秒間
運転したあと停止します。

- 乾燥ランプが消灯し、液晶表示部がすべて消灯します。

5 予備暖房



予備暖房運転を開始します。

- 予備暖房ランプが点灯し、液晶表示部に運転状況が表示されます。
- ファンが回り、風向ルーバーが開きます。



風向ルーバーの向きが変わります。



運転時間が増減します。

- ※初期設定は30分です。
- ※10分ごとに設定できます。



ヒーター冷却のためファンが約10秒間運転したあと停止します。

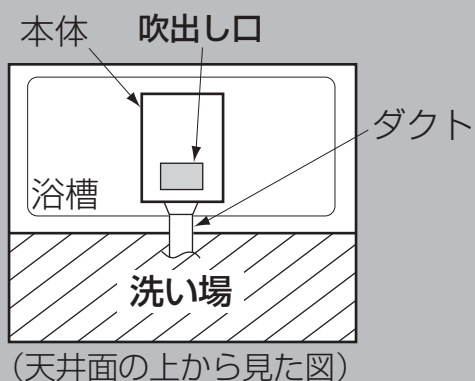
- 予備暖房ランプが消灯し、液晶表示部がすべて消灯します。

設置方向の設定

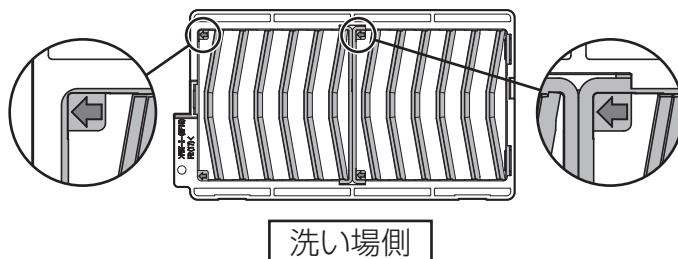
吹出しグリルが洗い場側から見て「手前側」「奥側」の場合に設定します。

手前側の場合

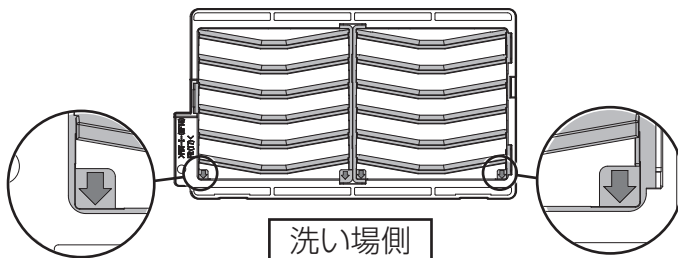
① 吹出しグリルを変更する



変更前

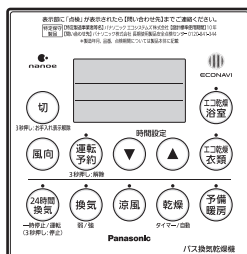


変更後



※吹出しグリルの変更のしかたは11ページ参照

② 脱衣室リモコンの設定を変更する



※以下の場合には設定できません。
・24時間連続換気運転中（一時停止中含む）
・取扱説明書記載の設定変更中

①



運転を停止します。

②



設定モードへ

設定内容：▲で順送りし「d01」に設定する

③

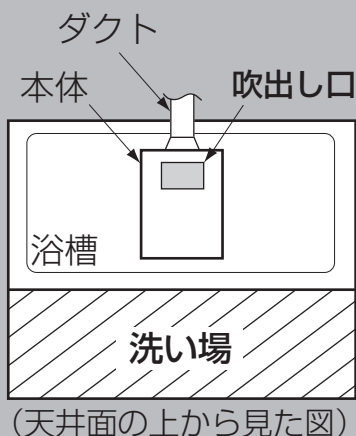


設定モードを終了します。

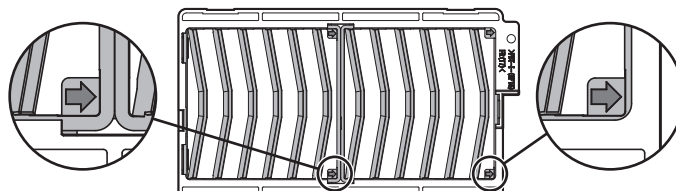
■他のボタンを押しても確定します。

奥側の場合

① 吹出しグリルを変更する

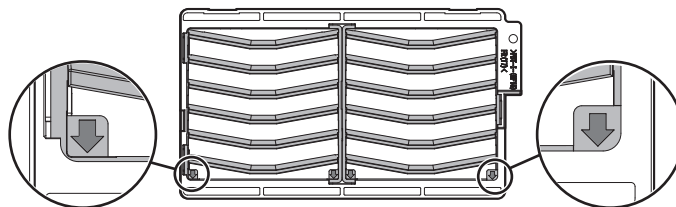


変更前



洗い場側

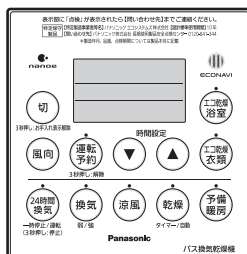
変更後



洗い場側

※吹出しグリルの変更のしかたは11ページ参照

② 脱衣室リモコンの設定を変更する



※以下の場合には設定できません。
・24時間連続換気運転中（一時停止中含む）
・取扱説明書記載の設定変更中

①



を押す

運転を停止します。

②



を4秒以上
押す

設定モードへ

設定内容：▲で順送りし「d02」に設定する

③



を押す

設定モードを終了します。

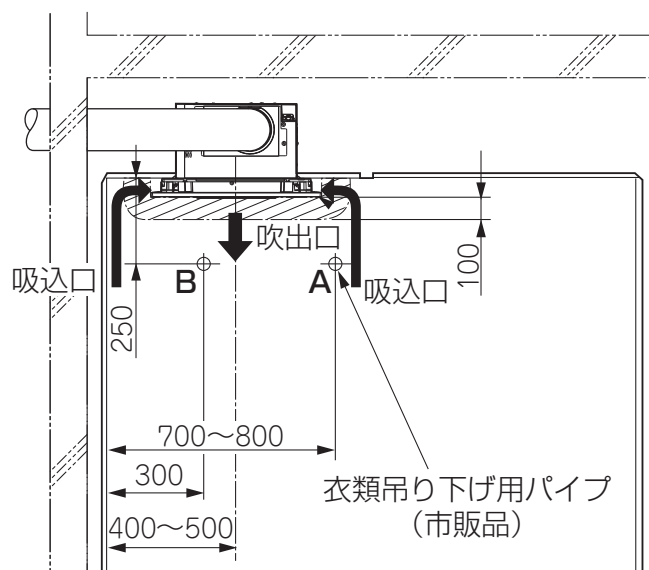
■他のボタンを押しても確定します。

衣類吊り下げ用パイプの取り付け

右記の位置に、衣類吊り下げ用パイプ（市販品）を取り付ける。

単位：mm

- ※衣類吊り下げ用パイプ収納用受部材の位置に補強板を裏打ちすることをおすすめします。
- ※衣類吊り下げ用パイプを購入されるときは、必ず1本あたり4kg以上の質量に耐える不燃性と耐食性の品物を選んで取り付けてください。
- ※衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は、必ず右記の寸法で取り付けてください。
（指定寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります）
- ※衣類吊り下げ用パイプを1本しか取り付けできない場合は、必ずAの位置へ取り付けてください。
- ※衣類吊り下げ用パイプと天井面からの距離は、**250mm** 以上離してください。
- ※製品に近づけすぎると、衣類が変色するおそれがあります。



確認事項のチェック

下記の確認表にしたがい、確実に施工したかを再度確認してください。

施工できていれば ✓ チェックを記入してください。

チェック内容	参照ページ	チェック欄
吹出し風は洗い場方向に吹き出していますか？	10～11ページ	
衣類吊り下げ用パイプの取り付け位置は250mm以上天井面から離れていますか？	裏表紙	
電源ケーブル・アース線の接続は確実ですか？	12ページ	
電源ケーブルは専用の漏電ブレーカーに接続されていますか？	－	
試運転で各運転モードを確認しましたか？	17～21ページ	
異常音はありませんか？	－	

※チェックが終了したら取扱説明書、所有者票セットをお施主様へお渡しください。

この工事説明書は、取扱説明書と一緒にお客様で保管いただくように依頼してください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2015

13UG64251AE-P0615-1065